

論文の内容の要旨

International Relations and National Innovation: Security Threats, Strategic Alliances, and Technological Growth

(国際関係と国家の革新：安全保障上の脅威、戦略的同盟、技術的成長)

ブルーマ マシュー

この博士論文は「国際的な安全保障と国内の技術革新間の関係性」について問うものである。一部の国々は革新の最先端に到達し、自らの立ち位置を固める一方、他の国々は革新を進められないか逆に革新の影響により力を失っている。この違いに至る理由を本論文は扱う。革新は相対的な経済力と絶対的な戦略力の両方に影響を与えるため、この内容は国家に関する研究において重要性が高い。本論文では、従来はエコノミスト達の領域とされていた研究分野に対して国際関係（IR）の視点を適用するものである。それを実施するため、本論文は脅威と同盟関係についての IR 変数の測定基準を構築し、活用することで、国際的な安全保障と国内の革新間の関係性を考察する。本論文は「同盟関係は全般的な革新に対しては大きなプラスの影響を与えるものの、軍事的な革新には繋がらない」、「脅威は全般的な革新と軍事的な革新の両方に大きなプラスの影響を与える」、「国際的な国家システムにおいては同盟関係、脅威、革新は「相互を決定付ける」関係にある」との実証的結論を3章に亘って記述する。これら3つの中核的結論は広義の革新研究においては真新しいものである。さらに、本論文では生物学的進化と技術革新間の類似点を考察する章を設けている他、本論文の裏付けとなる豊富なアペンディクスを設けている。国家の技術革新プロジェクトにおいてはエコノミスト達が論じるような国内制度よりも、無政府状態にあるグローバル・システムにおける構造、ライバル関係といった力学のほうがより重要な要素であることを本論文の最終的な結論とする。